

一般質問通告書

13

多可町議会議員 河崎 一 様

多可町議会議員 辻 誠一



平成 26 年 3 月 14 日

受
領

午前

11 時 10 分

午後

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. 焼却ゴミ処理について	町 長
<p>現在北播磨5市1町は、焼却ゴミ処理について広域での処理を検討していると聞く。しかし、徹底して分別すれば焼却すべき“ゴミ”は無くなるとも言われている。また、多可町はゴミの分別意識が北播磨管内の他の市よりも進んでおり、また現在のみどり園の焼却施設が使用できなくなる頃には、高齢化も人口減少も更に進み、そもそも焼却処分すべきゴミの量は減るものと思われる。従って広域でのゴミ焼却処分施設の検討と併せて、町単独でのゴミ焼却処分についても検討するべきだと考えるが町長の御所見を伺う。</p>	
2. 若者定住対策について	町 長
<p>若者定住対策の為に、子どもの子育て支援制度を各種展開しているが、肝心の住宅が不足している様に思われる。そこで、以下の制度を創設してはどうかと考えるが町長の御所見を伺う。</p> <p>1・民間アパートへの家賃補助制度（例：限度額3万円 家賃の1/2補助 最大5年）</p> <p>2・集落内に散見される「廃屋」を町が借り上げ、（一定程度手を加えて）町営住宅として賃貸に供する制度。</p>	
3. 税外収入の探求を	町 長
<p>次年度予算案は、歳出を抑える為の苦心はうかがえるが、住民生活を守るための配慮には欠けているのでは無いか。しかしこれは収入に限られる中でやむを得ない事であると考えます。全国の自治体の中には、自然エネルギーを活用して税外収入を得、その収益を住民の暮らしを守るために使っている自治体もある。先日もテレビで北海道の自治体が、豊富にある材を活用してバイオ発電に取り組み、町中の使用電力を供給し、1億円を超える収入を子育て支援や若者定住に資する施策の原資にすべく挑戦している姿が紹介されていた。多可町にもその様に使える資源は豊富にあるのでは無いか。（例：バイオマス発電、小学校校舎を活用した宿泊施設、介護付き高齢者住宅等々）未活用資源を税外収入に換える施策について町長のご所見を伺う。</p>	